

すわみつえ通信

No.156 2021年1月11日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

新型コロナウイルスの拡大により1月8日、1都3県を対象に緊急事態宣言が発令されましたが、鴻巣市では成人式を予定しており1月10日(日)にクレアこうのすで開催しました。

感染予防対策として、10時・12時30分・15時の3回に分散しての式典ではありますが、喜びあう姿を、会場外から見ることができました。

コロナ禍を共に乗り越え新しい社会をつくる一員として心よりお祝いを申し上げます



新成人の皆さん
おめでとうございます!

緊急事態宣言中(1月8日～2月7日)は 公共施設の利用を制限

- 夜間利用は20時まで
※図書館(鴻巣中央、吹上は18時まで) ※こうのすシネマ(1月12日から)
- 新規利用の予約受付を停止
公民館・生涯学習センター、鴻巣集会所・吹上ふれあいセンター・川里ふれあいセンター、屋内スポーツ施設、クレアこうのす、市民活動センター、コミュニティセンター、総合福祉センター・吹上福祉活動センター、花久の里、ひなの里、川里農業研修センター、愛里巣 【※予約済みの施設をキャンセルする場合は利用料の返還があります ※馬室キャンプ場(利用中止) ※高齢者福祉センター3館及び川里創作館(休館)】

「異例」づくしの計画・市長の
土地に建設予定の特養ホーム
(仮称)第二福富の郷」

現職市長の土地(農地)に50年
間の定期借地権で建設計画

1. 鴻巣市洪水ハザードマップで3、5メートルの浸水被害が想定。
2. 入所者100人、デイサービス30人定員、従業員の汚水排水先が

未定↓12月市議会でのすわみつえ議員の一般質問に「事業者より排水計画についての協議がない」と答弁があった。

1月4日に市担当部署に「その後、協議は進んでいるか」確認するも「問い合わせはあるが、きちんとした数値を持参しないため協議にいたらない」という。

3. 開発許可・農地転用申請もこれから
4. 12月11日に初めて行った説明会で住民から「白紙撤回せよ」の意見が続出し、「第二福富の郷」の社会福祉法人こうのとり福祉会は「白紙撤回を含めて検討する」と答えざるを得ない状況に陥った。↓その後、検討したのかしないのか法人からの説明は一切ない。

▼市民が求める安心安全な特養ホーム建設とするため、地域住民の方々が県に対して要望書を提出する署名活動を始めました。情報交換を行いながら声を届けていきます。

俳句コーナー

初空に 真実つかむ 赤旗で

多恵子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

「愛がない」「説得力に欠ける」

しんぶん赤旗 1月10日付

菅首相の「緊急事態」発令会見

テレビなどで批判の渦

新型コロナウイルスの感染拡大が危機的状態にあるなか、国民を説得しようとする意思も能力もない菅義偉首相の一連の対応にテレビなどで批判や疑問の声が渦巻いています。

菅首相は政府の「対策本部」でありながら、7日、緊急事態宣言を発表するにあたって事前に報告する衆参両院の議院運営委員会への出席を拒否しました。

同日朝の朝日系「羽鳥慎一モーニングショー」に出演した日本病院会の相澤孝夫会長は、「言いたいことが一つだけある」と切り出し、「政府にも政治家たちにも、(相

当な覚悟が必要なのに、まったくわれわれには見えてこない」と怒りに震えていました。

緊急事態宣言発令後の7日の記者会見は、「次の日程」を理由に52分で打ち切ってしまった。国民への説明より大事な「日程」があるのか。

同日夜のTBS系「NEWS23」では、小川彩佳キャスターが「国民の行動を変えるという意味でも、国のリーダーがこの局面でどのような言葉で、どのような熱量で語るのかということが非常に重要になってくる」と思

う」と発言。アンカーの星浩氏は「この数カ月、Go To トラベルの

停止は遅れましたし、措置の改正も遅れに遅れているということがある。そのことへの反省とか検証がないまま、今回、緊急事態宣言なら、またうまくいくんだというんでは、いささか説得力に欠けると思います」と指摘しました。

神戸大学病院感染症内科の岩田健太郎教授は、8日のフジ系「とくダネ!」で、「対策」がもたら夜飲食店の時間短縮になっていることに疑問を呈したうえで、「ドイツのメルケル首相のような心を動かすようなスピーチではなかった。関東の方がどれだけ応じてくれるか懸念を持ちま

す」とのべました。

同日、朝日系「羽鳥慎一モーニングショー」では、作家の吉永みち子さんが医療機関の深刻な現状や保健所体制などにふれ、「政府のやるべきことが、スボッと抜けている」と批判しました。

歌手の小柳ルミ子さんは7日、自身のブログを更新。「あくまでも個人的な感想」としたうえで、「とても『緊急事態宣言』のスピーチとは思えなかった」として、「何故その結論に至ったのか」「どうだから こうでこうします」納得できる説明がまるでない」と指摘。「情はないのか? 愛はないのか? 誠意はないのか? 血は通っているのか?」と訴えています。

国民の不安や疑問にこたえ、国民が納得できる説明ができなければ、首相の資格はありません。

(藤沢忠明)

#困ったときは
共産党に
相談を



医療・生活の相談



政府に緊急申し入れ



街頭で知らせて



食料支援に協力



犬の散歩で児童見守るワン 南国市で8人11匹 巡回中「子どもの笑顔やりがい」 高知新聞



子どもたちと一緒に登校しながらパトロールする「たま子」(南国市)



ただ今、巡回中だワン。愛犬を散歩しながら地域の子どもたちを見守る防犯運動「わんわんパトロール」が、南国市でじわり広まりつつある。市教委の呼び掛けで始めて1年。市内3小学校区で8人11匹が登録し、児童の登下校時に活躍している。

昨年12月半ばの早朝。ゴールデンレトリバーのたま子(3歳雌)が十市小近くを散歩していた。「たまちゃん! おはよう」。登校中の児童に声を掛けられると、しっぽをふりふり「ワンワン!」。

「わんわん警察だ!」「かわいい!」。集まってきた児童を学校まで見送ると、散歩を再開。本格的に活動を始めて1カ月余りだが、すっかり子どもたちの人気者だ。

(高知新聞 1月10日付)

鴻巣革新懇が「新たなごみ処理施設に対する要望書」を市長へ提出

1月6日(水)、鴻巣革新懇は市長宛の「新たなごみ処理施設に対する要望書」を高久代表世話人から市長政策室長へ提出し、1カ月以内に文書での回答を要請しました。



(右) 高久代表世話人